

<各イベントの実施報告>

1. シンポジウム「サンゴの大規模白化の影響と私たちができること」

実施主体名	国連生物多様性の10年市民ネットワーク/国立環境研究所
開催日時	3月5日 14時 ~ 3月5日 17時
実施内容	<p>講演1：気候変動によって変化するサンゴ礁～これまでとこれから 国立環境研究所 生物・生態系環境研究センター 山野博哉</p> <p>講演2：ウェブ投稿による調査でわかった国内のサンゴ白化状況 国立環境研究所 生物・生態系環境研究センター 熊谷直喜</p> <p>講演3：空と海から見た石垣島周辺海域の白化現象 ～地元事業者の想いと未来～ WWF ジャパン サンゴ礁保護研究センター 鈴木倫太郎</p> <p>講演4：サンゴ礁生態系保全行動計画 2016-2020 について 環境省 自然環境局 自然環境計画課 山崎麻里</p> <p>講演5：市民によるサンゴ礁モニタリングと保全の取り組み 国連生物多様性の10年市民ネットワーク 宮本育昌</p>
実施状況	<p>サンゴ礁研究者・水中カメラマン・ダイビングインストラクター・ダイバー・環境教育指導者・NGO・行政・企業・マスコミ・雑誌記者・一般の方など多様なステークホルダーから42名に参加いただいた。</p> <p>サンゴの大規模白化によるサンゴ礁および地域住民への影響や、それに対して地元そして都会で取り組める保全活動について情報共有と意識啓発が図れた。また、最新の研究成果に基づくサンゴ白化の理解が進んだ。</p>
実施しての所感	多様なステークホルダーの方々に参画いただけたため、中身の濃いシンポジウムが開催できたと思います。告知が十分でなく、部屋のキャパに対して人数が少なかったのが反省点です。
メディアへの掲載	<ul style="list-style-type: none"> ・日本サンゴ礁学会ニュースレターに掲載予定(講演者が記事執筆)。 ・月刊マリンダイビングに記事掲載予定。

以下、イベントの様子。



2. 取り戻そうサンゴの海

実施主体名	NECO ツーリズム
開催日時	3月5日 10時 ~ 3月5日 16時
実施内容	生物とゴミの関係、環境学習、ビーチクリーン、カヤック、筏、体験
実施状況	晴れ、60名 親子、観光、遠くからは見えない足元のゴミの多さにびっくり、されていました。
実施しての所感	地元の海を地元の方が汚し、清掃活動もしない、根深い問題があります。環境に関心があるのは、市外や移住者の方々、時間のかかる
協議会への要望	引き続きご支援よろしくお願いたします。
メディアへの掲載	RBC テレビ 3/26

以下、イベントの様子。



3. 紅型絵本「やどかりの夢」スライド読み聞かせ+音楽

実施主体名	やどかりの夢
開催日時	3月5日 11時20分～12時
実施内容	紅型絵本「やどかりの夢」の紅型のスライドとミニ影絵とウクレレ、三線の生演奏による読み聞かせ
実施状況	<p>予約40名があり事前に締め切りしました。</p> <p>ビーチクリーンしたあとにカフェなちゅらで開催。</p> <p>当日はキャンセルもありましたが親子30名以上でちょうどよい人でした。</p> <p>急きょ影絵の入れたのでみなさんとっても楽しんでくれて、最後はみんなでやどかり音頭を踊ってとっても盛り上がりました。</p> <p>みんな楽しかった～と言って喜んでくれたのでうれしかったです。</p> <p>また見たいと言われオファーもきました。</p> <p>公演の様子は虹亀商店のブログに詳細は掲載されています。</p> <p>http://nijigame.ti-da.net/e9400432.html</p> <p>今回、40名限定で、ちびっこもたくさん来てくれていたので、走り回る子、ご飯食べてる子、影絵にちょっかい出す子(笑)…自由な雰囲気の中、最後はもうみんなで、カフェなちゅらの中で、輪になって踊ることができました</p> <p>絵本をもうすでに持っていて、お話も知っているからってことで、最初は他の遊びに夢中だった子も、影絵が始まったら、いっきに影絵とお話の世界に釘付けになっていたよ^^という、お母さんの言葉が嬉しかったです^^</p>
実施しての所感	<p>沖縄の伝統の紅型と、三線、生の演奏を通して、沖縄文化に親しみながら、楽しみながら、海の生き物やサンゴのことを考える良いきっかけになったと思います。ビーチクリーンの後だったのでリアルに感じることもできたと思います。</p>

以下、イベントの様子。



4. 紅型染めバッグ作り体験

実施主体名	虹亀商店
開催日時	3月5日13時～3月5日16時
実施内容	※実際に実施した内容を簡単にご記入ください。 キャンバス地のトートバッグを紅型染めして、サンゴや海の仲間のデザインのオリジナルバッグをつくりました。
実施状況	※当日の天候（野外イベントのみ）、参加者数、参加者層（親子、シニア、若者、観光客、地元民等）、参加者の様子・反応などを簡単に記述ください。 絵本読み聞かせライブ「やどかりの夢」、ビーチクリーン、カヤック体験との共同企画だったので、多くのお客様（合計100名ほど）に集まっていただき、にぎやかに1日イベントを楽しんでいただけました！ その内紅型体験をされたお客様は十名ほど。幼稚園生から、お母さんやおばあちゃんといった御家族づれ、若い女性グループと、あらゆる世代の方に体験していただきました。
実施しての所感	海が近かったのはよかったのですが、場所がわかりにくく、体験スペースもあまり広くなかったため、次はもうちょっと広い場所で多くの方に体験していただきたいと思いました。

以下、イベントの様子



6. さんごのおはなしをつくろう！

実施主体名	ぷろおきなわ
開催日時	2月26日10時～11時半
実施内容	①さんごの専門家からさんごのおはなしを聞く ②話を聞いて、画用紙に自由に絵を描く ③こどもたちでさんごのおはなしをつないでつくる
実施状況	・参加人数 こども13人、保護者10名 ・参加のこどもたちは、はじめての体験だったが、とても熱心に絵を描いたり、おはなしをつくっていた。それを見ている保護者も大変あたたかなまなざしで、終わってか、子どもたちがつくったお話しに驚いていた。終了した後も、講師の先生からのさんごのお話しを熱心に聞き、なかなか帰れずにいた方が多くいた。
実施しての所感	・さんごのおはなしづくり！という未知の世界のイベントへ当初はどのくらい参加者がいるのか不安な要素もありましたが、当日は定員オーバーする参加者で大変盛り上がりました。 ・子どもたちに強制せずに、それぞれの個性を大事にすることを基本とし、おはなしをつくるときも「待つ」姿勢を貫いたことが、とてもよかった。 ・感想もいただき、大好評でした。何よりも講師の中野先生に子どもたちのつくったお話しをほめていただき、子どもたちも保護者や主催者の私たちも大いに励みになった。

以下、イベントの様子。



7. 海 LOVE in 宮古島 2017

実施主体名	「海 LOVE in 宮古島 2017」実行委員会
開催日時	3月5日10時 ~ 3月5日15時
実施内容	前半はボランティア海岸清掃を実施。 後半は、フリーマーケット、地元飲食店の弁当販売などが出店し、地元高校生によるライブが行われました。
実施状況	天候は晴れで暖かったです。参加人数は120名。家族連れや高校生、地元の住民の方などが参加してくれました。 大量の漂着ゴミがありましたが、人数が多かったので、みんなで力を合わせ、きれいなビーチの姿に戻りました。 天気にも恵まれ、皆楽しみながらゴミを拾っていました。 地元の高校生が、記録班として手伝ってくれたり、後半はライブをしてくれてイベントに協力してくれました。
実施しての所感	地元の方も、いつもビーチにゴミが多いことで困っていたので、イベントに協力的で、自治会長さん自らゴミ拾いをしてくれました。また高校生が来てくれたのも、イベントが盛り上がった要因だと思います。
協議会への要望	実行委員は、みんなでサンゴ礁ウィークのジャンパーを着用しました。追加の要望にすぐ対応していただき、ありがとうございました。
メディアへの掲載	宮古毎日新聞 3月7日 掲載 宮古新報 3月7日 掲載 NHKテレビ 3月5日、6日 放映

以下、イベントの様子。



イベント前 スタッフ写真



清掃風景



清掃後、全体写真



高校生によるライブ

サンゴ礁イベント
大量の漂着ごみに驚き
高野海岸で清掃活動

サンゴ礁イベント「わねだ」は、高野海岸に漂着した大量の漂着ごみを回収する「わねだ」の清掃活動の一環として、高野海岸で清掃活動が行われた。清掃活動には、高野高等学校の生徒や地元住民など約50人が参加した。回収されたごみは、高野海岸の清掃センターで処理される予定だ。

高野海岸は、サンゴ礁の生態系が豊かである。しかし、観光客の増加に伴って、海岸に漂着するごみの量も増加している。この清掃活動は、海岸の清掃だけでなく、サンゴ礁の保護にも貢献している。

高野高等学校の生徒は、清掃活動を通じて、環境保護の大切さを学び、地域社会への貢献意識を高めた。また、清掃活動を通じて、地元住民との交流も深められた。

高野海岸の清掃活動は、今後も定期的に開催される予定だ。高野海岸の美しい風景を守り、サンゴ礁の生態系を保護するために、今後も積極的に参加してほしい。

新聞記事：宮古毎日新聞

海LOVE in 宮古島で海岸する宮高高等学校のバンド
～5日、高野海岸清掃活動～

きれいな海広げよう
海LOVE in 宮古島
ビーチ清掃とイベント

高野海岸の清掃活動は、高野高等学校のバンドによるライブイベントと合わせて行われた。清掃活動には、高野高等学校の生徒や地元住民など約50人が参加した。回収されたごみは、高野海岸の清掃センターで処理される予定だ。

高野海岸の清掃活動は、今後も定期的に開催される予定だ。高野海岸の美しい風景を守り、サンゴ礁の生態系を保護するために、今後も積極的に参加してほしい。

新聞記事：宮古新聞

8. 沖縄のサンゴ礁研究最前線～サンゴは地味だが役に立つ～

実施主体名	日本サンゴ礁学会若手の会
イベント名	沖縄のサンゴ礁研究最前線～サンゴは地味だが役に立つ～
開催日時	3月 12日 12時 ～ 3月 12日 17時
実施内容	サンゴ礁に棲む生き物のタッチプール、生きた有孔虫の観察、生体サンゴと骨格の展示、生体サンゴの顕微鏡観察と蛍光観察、サンゴの白化レポート、調査器材の展示、生き物に名前がつくまでの過程の説明、若手研究者らによる研究ポスター発表、書籍コーナー
実施状況	参加者数：約 70 名 参加者層：親子連れ（3-4 名）最多、シニア（単独）若干名、若者（カップル）やや多、ミスワリン（4 名）*すべて地元民 参加者の様子・反応など： 子ども達にはタッチプールや顕微鏡コーナーが好評で、「ヒトデをはじめ触った」「サンゴのポリプがかわいい」などの感想をいただきました。また、来場者のみなさまは私たちの話を熱心に聞いてくださり、「うちなーんちゅ（沖縄県民）が知らないサンゴのことを外国人も含め若い人が研究していることを初めて知った」「これからも頑張ってもらいたい」という嬉しい言葉をいただきました。
実施しての所感	初年度から通算 4 回目の参加となりましたが、今年になって初めて知り合いの親子が見に来てくれたり、実施後のテレビ報道を見て連絡をもらったりもしました。少しずつですが、身近な人にも認知され、本当に伝えたい人に見てもらえるようになってきたのかもしれない。年々慣れてきたこともあり、今年の実施の省エネ化にも成功しました。
メディアへの掲載	琉球放送「南の島のミスワリン」、3月26日午後3時30分放送分

【当日の様子】



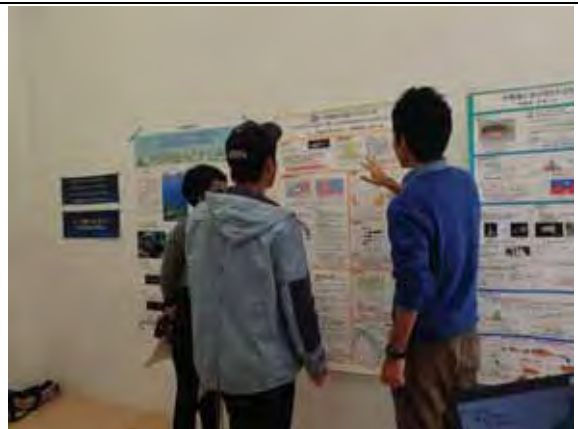
会場の雰囲気



タッチプール



生体サンゴと骨格の展示



研究紹介（ポスター発表）



生きた有孔虫の観察



来場者感想ボード

9. あーまんシアターとサンゴすごろく

実施主体名	あーまんシアター
開催日時	3月 5日 13時 ~ 3月 5日 15時 30分
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・手作りぬいぐるみを使った海のお話「あーまんシアター」 ・サンゴすごろく ・漫湖の木道観察
実施状況	<p>・参加者数：25名 ・参加者層：主に親子参加</p> <p>・漫湖水鳥・湿地センターのレクチャールームにて、はじめに全員であーまんシアターを鑑賞。海の生き物の紹介に数名の子どもたちが活発に反応し、楽しい時間になりました。その後、全体を2グループに分け、室内でのサンゴすごろくと、屋外での木道観察を交互に行いました。すごろくでは、いくつかのポイントでサンゴに関わる生物や白化などの解説をはさみ、サンゴにまつわる環境問題に気付きながらゴールを目指しました。最初にゴールした人にはサンゴネックレスのプレゼントもありました。木道観察では、この日は晴れたもののカニの姿は少なめ。ヒルギの実生やミナミトビハゼを観察しました。最後に全員で室内に戻り、浦添の港川自治会から提供されたアーサ汁をいただきながら感想を書いてもらいました。</p>
実施しての所感	<p>・募集時に小学生以上としましたが、むしろ小学生未満のお子さんと一緒に参加希望が目立ちました。募集層を区切ることで参加を諦めさせていることも考えられます。低年齢のお子さん向けのイベントは一定のニーズがあるので、次回はそこを考えてやってみたいと思います。</p>

あーまんシアター



サンゴすごろく



木道観察



10. 海 LOVE ビーチクリーン

実施主体名	海 LOVE ネットワーク
開催日時	3月 5日 10時~12時
実施内容	平久保灯台北側の手つかずの海岸をビーチクリーンしました
実施状況	<p>当日の天候は晴れ</p> <p>参加者数、30名（内子供6名）</p> <p>ほとんどビーチクリーンされない浜なのでゴミが大量にあり30名では半分も拾い切ることができませんでした。</p> <p>県の台湾、中国との交流事業のモニタリングも行いました。</p> <p>ゴミの結果は</p>
実施しての所感	<p>ペットボトルが約1000本、ラベルがあるものがその中で400本あり300本が中国のものでした。そのことにみなさん衝撃を受けていらっしゃいましたが、最後に勉強会も開き日本のゴミも遠い国に海流でながされてほかの国や動物に迷惑をかけていることを伝えました。</p> <p>知らなかったことが多かったと、ゴミ出さない生活をして行く事、ビーチクリーン大切だと言う声を大人からも、子供からも聞くことができました。</p> <p>私たちがイベントではなくても普段のビーチクリーンで今回、最後に付け加えた勉強会がとても大事だとわかり、いい経験でした。</p>

以下、イベントの様子。



11. さんごと海の生きもの学習会

第6回 ニッポンハムグループ サンゴ礁再生プログラム 2017年3月5日(日) @さんご畑

【日時】 2017年3月5日(日) 第一部9:50
 ~12:30 第二部13:00~14:00
 【会場】 「(有)海の種 さんご畑」
 沖縄県中頭郡読谷村字高志保915番地
 【参加者】 全89名
 【実施内容】

- ①金城浩二氏によるサンゴのお話し会
- ②陸上施設における生きたサンゴの観察会
- ③サンゴの株分けとサンゴの苗床づくり
- ④北海道日本ハムファイターズの2016年日本一記念のサンゴの植樹
- ⑤クリーンピック(海岸清掃) 等



金城さんによるサンゴの学習会



飼育施設で生きたサンゴの観察



母サンゴの株分けと苗床づくり



カットサンゴの苗は陸上水槽で飼育

サンゴの足元や色への目やりを体験

金城氏より生きたサンゴの贈り

全89名の皆様に郵送いたしました



日本一記念サンゴ100を陸上植樹

ファイターズの日本一を記念した観戦

ゲーム形式の海岸清掃 クリーンピック

33名が日曜に分かれてごみ分別回収